

公益社団法人私立大学情報教育協会
令和6年度 第2回産学連携推進プロジェクト委員会議事概要

- I. 日時：令和7年1月20（月） 16：00～18：00
- II. 場 所：私立大学情報教育協会（ZOOMによるテレビ会議開催）
- III. 参加者：向殿委員長、大原副委員長、井上委員、青木委員、歌代委員、田辺委員、
三好アドバイザー、渡部アドバイザー、原田アドバイザー、
井端事務局長、森下主幹

IV. 資料

1. 第15回産学連携人材ニーズ交流会開催要項（案）
2. 令和6年度「大学教員の企業現場研修」開催要項

V. 検討内容

1. 第15回産学連携人材ニーズ交流会開催要項について

資料1を用いて、第15回産学連携人材ニーズ交流会の開催内容を検討し、以下の内容で開催要項を確定した。

- ・開催日時 令和7年3月1日（土）9：00～11：30
- ・配信会場： アルカディア市ヶ谷（私学会館） オンライン開催（Zoom 使用）
- ・開催要項

1. 開催趣旨

VUCA(ブーカ)の時代と言われるように、変動が激しく不確実で、予測できない複雑な問題を抱える現代社会では、これまでの常識が通用しなくなるとされており、学生には新しい物事や変化そのものに適応する能力が求められています。AI と共存する中、物事の本質を捉える訓練を通じて、実践的に社会課題の解決に立ち向かい、未来を切り拓いていく世界に通用する人材の育成が要請されています。それには、大学教育での知の創造に加え、地域社会や企業の知見、現場感覚、実践体験などを取り入れた学びを通じて、地球的規模で未来を拓く価値の創造に挑戦していく新しい学びが必要になります。

そこで、本協会では、社会と大学が連携した共創活動の「場」が不可欠と判断し、仮想空間に SDGs(持続可能な開発目標)の活動拠点を設けたモデル構想を研究しています。学生が新しい価値の創造に立ち向かっていけるよう、日本社会全体で学びを支援する仕組みとして、共創活動の拠点をメタバース上の仮想空間に設け、SDGs(持続可能な開発目標)の解決を目指す「SDGs サイバーフォーラムコモンズ」の構想に基づくパイロットプランについて、情報専門教育分科会から報告を受け、実現の可能性を確認します。

2. プログラム

9:00 開会挨拶 向殿 政男 公益社団法人 私立大学情報教育協会会長

9:10 情報提供 1

(1) SDGs サイバーフォーラムコモンズのパイロットプランについて

大原 茂之 氏 （公益社団法人 私立大学情報教育協会情報専門教育分科会主査）

① 試行実験の基本方針

先行きが不透明で将来の予測が困難な時代において、日本が成長力、競争力を高めていくには大学教育だけでは限界がきています。地球的規模で新しい価値の創造に立ち向かって行けるよう、大学と社会が一体化して学びを支援していく仕組みが求められています。意欲ある学生チームによる SDGs の研究を社会とマッチングする共創活動の拠点を仮想空間に設け、「創発的な学び」を目指します。

② 大学教育での位置づけと産学連携の意義

対象とする学びは、意欲のある学生チームによる共同研究・創作活動やゼミナールなどのテーマ別 PBL とし、教員・社会の支援を前提にします。答えのない SDGs の課題解決に向けて、どのように考え、どのようにアプローチしたらよいのかなど、共創活動を企業・自治体関係者(以下「企業等」)に広く知っていただき、関心を誘発してコミュニケーションする中で、未来を拓く価値の創造に挑戦していく仕組み作りを目指します。

③ 期待される効果

学生は、社会からの意見や反応を組み合わせ、創発的に問題解決する社会人力を身に付けることが期待されます。大学は、共創体験を支援することにより、学生と社会のウェルビーイングに関与し、大学価値の拡大・向上につなげることが期待されます。企業等は、学生と共に価値づくりを実現していくことで、組織の存在価値を高め、次世代人材の育成、新たな価値創出や地域創生、製品・サービスの開発などに繋げていくことが期待されます。

9:40 情報提供 2

(2) パイロットプランの試行実験について

① 準備について

学生へのメタバース利用ルールの徹底を図るため、5 分のビデオを作成してオンデマンドで配信した取組みを紹介します。(情報専門教育分科会作成)

「SDGs サイバーフォーラムコモンズ活動に伴う心得」ビデオ視聴

*サイバーフォーラムでの行動規範、情報の取り扱い、成果物について

② マッチングについて

令和 6 年 10 月上旬から令和 7 年 1 月下旬に試行した仮想空間でのマッチングでメタバースのプラットフォームに学生が計画している SDGs の研究内容を掲載し、企業 3 社・モバイルコンピューティング推進コンソーシアム・スキルマネジメント協会と研究計画の内容を双方で理解共有できるようマッチング基盤環境の試用実感を一部の参加大学の学生、企業から報告いただきます。

<学生チームからの感想>

・帝京大学チーム ・静岡産業大学チーム ・久留米工業大学チーム (予定)

<企業からの感想>

・(株)内田洋行 ・(株)日立製作所 ・富士通 Japan(株)

<企業団体からの感想>

・スキルマネジメント協会 ・モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

10:50 全体討議

「SDGs サイバーフォーラムコモンズ構想の有効性及び課題について」

試行実験の結果を踏まえて、メタバース上の仮想空間に共創活動の拠点を設けることの有効性及び課題などについて意見交換を行い、各大学において SDGs サイバーフォーラムコモンズ構想を検討・推進するための情報提供を行います。また、マッチング後の共創活動の留意点についても紹介します。その上で、有志の大学と企業及び企業団体が連携した共創活動の状況をユーチューブで発信することを想定します。

11:30 閉会

2. 令和 6 年度「大学教員の企業現場研修」の開催要項について

資料 2. を用いて、各社に企画いただいたプログラムを取りまとめ「大学教員の企業現場研修」の開催要項を確認した。

1. 開催趣旨

大学教員の教育力向上を支援するため、賛助会員の全面的な協力を得て、「大学教員の企業現場研修」を開催し、情報産業における事業戦略の動向、若手社員を交えた大学での学びに対する要望などの意見交換を通じて、授業改善に向けた気づきを提供する。

2. 開催方法

昨年度に引き続き賛助会員企業の協力を得て各企業の現場にて対面方式で実施する。

3. 開催日時とプログラムの概要

① 株式会社内田洋行

2月13日（木）13：00～16：30

プログラム

1. 未来の教室「FutureClassRoomLabo®」とユビキス共創広場 CANVAS ツアー
未来の教室「FutureClassRoomLabo®」など、最新のショールームとハイフレックス授業にも対応する「未来の学習空間」の見学及び最新のライブオフィス見学。
2. 内田洋行の人事戦略の紹介（説明と意見交換）
会社紹介と社員教育プログラムを通じて、「情報の価値化と知の協創をデザインする企業」を目指して取り組んでいる人材育成の考え方や仕組み、採用などの紹介と意見交換。
3. 教育データ利活用に向けた取り組みの紹介（説明と意見交換）
GIGA スクール構想や最適な指導や支援を行う教育データ利活用に向けた取り組みの先進事例を紹介。
4. 若手社員との意見交換（大学での学びについて）
若手社員から業務内容、必要なスキル、ICT 企業の課題や実態、大学への要望などの発表と意見交換。

② 株式会社日立製作所

2月20日（木）10：00～12：00

プログラム

1. 事業概要、人材育成の取組の紹介（説明と意見交換）
日立が展開する社会イノベーション事業を中心に、事業概要と事業の推進に向けた日立の人財に対する考え方を説明し意見交換。
2. イノベーションの核となる ICT 活用事例の紹介（説明と意見交換）
株式会社日立アカデミーより、LXP（ラーニング・エクスペリエンス・プラットフォーム）による ICT を活用した人財の育成に関する取り組みを紹介し、大学に求める人財や教育環境について意見交換。
3. 若手社員との意見交換（大学での学びについて）
営業部門と SE 部門の入社 1～3 年目の若手社員から、担当業務内容・必要なスキル・業務上の課題や実態・大学時代に役だった経験や大学への要望などの発表と意見交換

③ 富士通 Japan 株式会社

3月4日（火）13：00～15：00

プログラム

1. 事業戦略の紹介（説明と意見交換）
富士通 Japan の DX(デジタル・トランスフォーメーション)を強力に推進し、日本の持続的な成長を支える取組み及び富士通 Japan が考える大学 DX や最新の事例紹介と意見交換。
 2. 人材育成の取り組み（説明と意見交換）
富士通グループのジョブを起点とした採用に転換し、職種・ビジネス単位ごとに適した人材採用の紹介と学生が自身のキャリア志向や強みを認識し挑戦できるよう、インターンシップの拡大や社員との対話の場を提供している取組みについて紹介し、意見交換。
 3. 若手社員との意見交換（大学での学びについて）
若手社員から現在の仕事の内容や経験を踏まえ、大学時代に役立った授業や学ぶべきこと、大学に対して望みたいことなどについて発表し、意見交換。
4. 現在の募集状況について
現時点で参加申込者が少ないので、メールにて再度の募集案内をお送りし参加者増を図ることにした。

4. 次回の日程について

本年度の委員会は今回で終了